

街をつなく、心をむすぶ 京阪グループ

 HOTEL KEIHAN
UNIVERSAL CITY™

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™の
ゲートに直結。ハリウッドの興奮と感動。



ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™ オフィシャルホテル
ホテル京阪 ユニバーサル・シティ
お問い合わせ・ご予約は…

〒554-8585 大阪市此花区島屋6丁目2-78
TEL.06 (6465) 0321

JRゆめ咲線(桜島線)ユニバーサルシティ駅下車徒歩約1分

ホームページアドレス <http://www.hotelkeihan.com>
Eメールアドレス info@hotelkeihan.com

交通のご案内

- JR新大阪駅よりJR線で約20分 ●JR京都駅よりJR線で約45分
- 関西国際空港よりJR線で約50分
- 大阪国際空港(伊丹)よりJR大阪駅までリムジンバスで約30分、JR線で約15分



ホテル京阪 ユニバーサル・シティは、
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™のオフィシャルホテルです。

Universal Studios Japan™ & © Universal Studios. All rights reserved. CR01-4340/SA01-1240

株主のみなさまへ

第80期 中間事業報告書

平成13年4月1日から
平成13年9月30日まで



京阪電気鉄道株式会社

大阪市中央区大手前1丁目7番31号 (〒540-6591)

株式担当 TEL (06) 6944-2521

広報担当 TEL (06) 6944-2549

ホームページアドレス <http://www.keihan.co.jp/>

京阪電気鉄道株式会社

ごあいさつ



株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第80期(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)の中間事業報告書をご送付するに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

当中間期のわが国経済は、設備投資や住宅投資が減少を続け、完全失業率が過去最悪の水準となるなど、景気の悪化が進行しております。

このような経済情勢のもとにおきまして、当社は鉄道事業をはじめ、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって業績の向上に努めましたが、全事業営業収益は556億2千万円(前年同期比0.7%減)となりました。

一方、費用の面では、極力経費の節減に努めましたが、営業利益は59億3千8百万円(前年同期比25.3%減)、経常利益は17億8千3百万円(前年同期比49.8%減)となり、中間利益として9億4千3百万円(前年同期比30.9%減)を計上することとなりました。

なお、中間配当につきましては、今後、不動産および株式市況の先行き不透明感が一層強まることが予想され、時価主義会計など新会計基準のもとでは、当社の当期業績に大きな影響をおよぼすことが考えられますので、誠に遺憾ながら実施を見送らせていただくことといたしました。株主のみなさまには、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げますとともに、事情ご賢察のうえ、なにとぞご了承を賜りますようお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、当社は「経営改革構想—PLAN'99」を平成12年7月から実行に移しておりますが、

これを上回るスピードで経営環境が悪化しており、引き続き第二次経営改革が不可欠であるとの認識のもと、喫緊の重要課題として現在その策定に取り組んでおります。

このような状況のなか、鉄道事業におきましては、平成14年3月の竣工を目途に引き続き京阪本線寝屋川市内連続立体交差化工事のうち、残る高架下整備工事を進めてまいりますほか、京阪本線淀駅付近立体交差化工事および京橋駅のリニューアル工事等を施行いたします。また、中之島新線事業につきましても、平成15年度の着工に向け、中之島高速鉄道株式会社とともに調査・設計作業を進めてまいりますなど、鉄道事業者としての公共的使命達成に努めてまいります。

さらに、マンション「くずはタワーシティ」の建設工事および分譲を進めてまいりますとともに、京橋駅のリニューアルに併せた「京阪モール」のリニューアルを実施するほか、「くずはモール街」のリニューアル計画やIT関連ビジネスの検討を推進してまいります。また、グループ会社の再編・統廃合を進めるなど、積極的な事業展開とあわせて経営資源の選択と集中を図り、当社および京阪グループ各社の総力を挙げて業績の回復に取り組んでまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年12月

代表取締役社長

藤 茂 雄

財務諸表

中間貸借対照表の要旨

(平成13年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	134,701	流動負債	119,272
現金・預金	8,615	短期借入金	64,187
未収金	4,206	未払金	7,401
販売土地建物	115,538	預り金	8,995
その他	6,341	前受金	29,676
		その他	9,011
固定資産	343,315	固定負債	242,356
鉄軌道事業固定資産	166,774	社債	98,827
兼業固定資産	85,396	長期借入金	80,640
各事業関連固定資産	2,183	長期未払金	29,492
建設仮勘定	40,197	退職給付引当金	13,124
投資等	48,763	預り保証金・敷金	17,994
子会社株式	7,492	その他	2,277
投資有価証券	35,682	負債計	361,628
その他	5,587		
		(資本の部)	
		資本金	51,466
		法定準備金	48,119
		剰余金	6,322
		(うち中間利益)	
		有価証券評価差額金	10,480
		資本計	116,388
資産合計	478,017	負債・資本合計	478,017

- (注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2.有形固定資産の減価償却累計額 215,656百万円
 3.1株当たり中間利益 1円67銭

中間損益計算書の要旨

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

(単位：百万円)

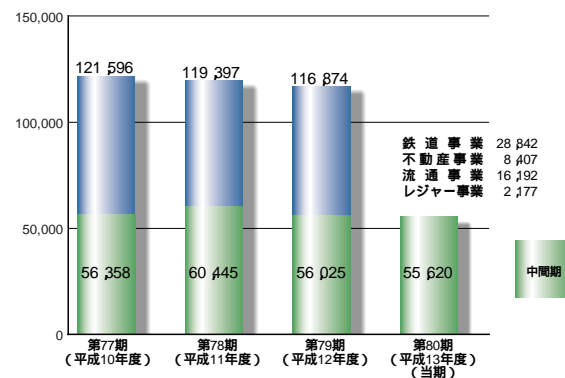
科目	金額
営業収益	55,620
営業費	49,682
営業利益	5,938
営業外収益	442
営業外費用	4,597
経常利益	1,783
特別利益	609
特別損失	765
税引前中間利益	1,627
法人税・住民税及び事業税	953
法人税等調整額	269
中間利益	943
前期繰越利益	3,579
中間未処分利益	4,522

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

業績の推移

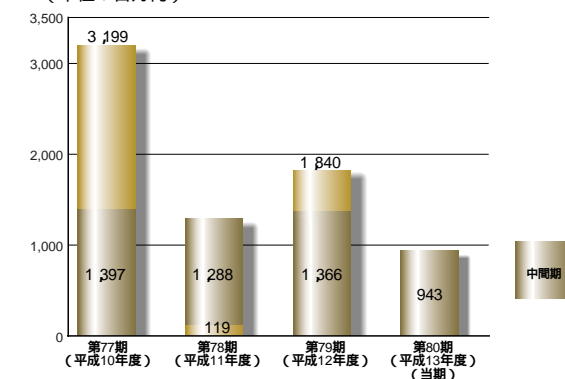
営業収益

(単位：百万円)



当期利益

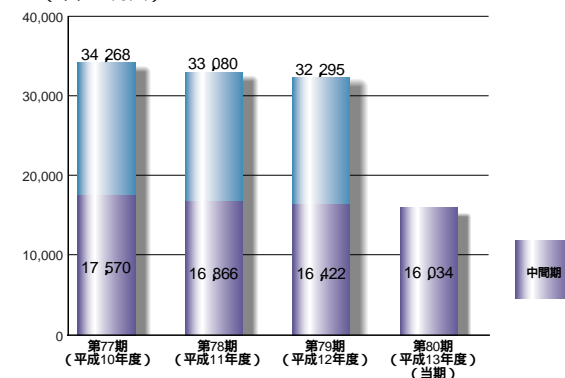
(単位：百万円)



(注)平成12年度からの時価会計制度の導入に先立ち、第78期に販売用不動産および有価証券の評価減を実施いたしました。

総旅客数

(単位：万人)



連結財務諸表

中間連結貸借対照表の要旨

(平成13年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	170,740	流動負債	167,497
現金及び預金	19,074	支払手形及び買掛金	9,345
受取手形及び売掛金	17,673	短期借入金	89,441
有価証券	399	前受金	32,365
たな卸資産	124,833	その他	36,345
その他	8,759	固定負債	273,059
固定資産	381,528	社債	98,827
有形固定資産	333,598	長期借入金	97,741
建物及び構築物	180,284	長期未払金	29,741
機械装置及び運搬具	30,596	退職給付引当金	22,131
土地	77,854	その他	24,616
建設仮勘定	40,117	負債計	440,556
その他	4,745	(少数株主持分)	
無形固定資産	4,382	少数株主持分	1,027
投資その他の資産	43,547	(資本の部)	
投資有価証券	36,077	資本金	51,466
その他	7,470	資本準備金	41,707
		連結剰余金	7,002
		その他有価証券評価差額金	10,510
		為替換算調整勘定	0
		自己株式	2
		資本計	110,685
資産合計	552,268	負債、少数株主持分及び資本合計	552,268

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2.有形固定資産の減価償却累計額 274,390百万円

中間連結剰余金計算書の要旨

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	金額
連結剰余金期首残高	8,468
連結剰余金減少高	1,485
配当金	1,414
役員賞与	70
中間純利益	20
連結剰余金中間期末残高	7,002

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,361
現金及び現金同等物に係る換算差額	199
現金及び現金同等物の減少額	1,878
現金及び現金同等物の期首残高	20,127
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,249

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書の要旨

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

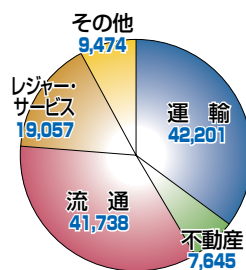
(単位：百万円)

科目	金額
営業収益	120,117
営業費	114,252
営業利益	5,865
営業外収益	651
営業外費用	5,038
経常利益	1,478
特別利益	330
特別損失	997
税金等調整前中間純利益	811
法人税、住民税及び事業税	1,212
法人税等調整額	400
少数株主損失	20
中間純利益	20

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業別連結営業収益

(単位：百万円)



連結子会社 (38社)

観山電鉄(株)	(株)京阪レストラン
比良索道(株)	京阪バスサービス(株)
京阪バス(株)	琵琶湖汽船食堂(株)
京阪宇治交通(株)	京阪宇治交サービス(株)
江若交通(株)	(株)京阪フィッシャーマンズ・ワーク
京阪タクシー(株)	京阪琵琶湖観光事業(株)
大阪京阪タクシー(株)	京栄写真(株)
宇治京阪タクシー(株)	(株)かんこう
汽船タクシー(株)	(株)ソイルエンジニアリング
敦賀京阪タクシー(株)	ケーター自動車工業(株)
大阪水上バス(株)	(株)樟葉/パブリック・ゴルフ・コース
琵琶湖汽船(株)	(株)京阪エンジニアリングサービス
若狭湾観光(株)	京阪園芸(株)
京阪ビルディング(株)	京阪建設(株)
(株)京阪百貨店	成幸工業(株)
京阪電鉄商事(株)	S.M.W.SEIKO, INC.
京阪産業(株)	
(株)太湖物産	
(株)京阪交通社	
(株)琵琶湖ホテル	
(株)ロレド・比叡	
(株)ホテル京阪	

持分法適用関連会社 (4社)

京福電気鉄道(株)
(株)大阪マーチャント・ゴルフ・マート
京都タワー(株)
(株)京阪ケーブルテレビジョン

● 中之島新線の鉄道事業許可を取得

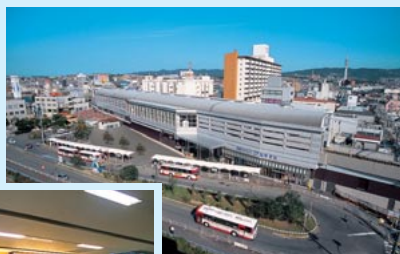


(注) 中之島新線の駅名はすべて仮称

当社は7月10日、天満橋から玉江橋に至る中之島新線事業の建設主体として、中之島高速鉄道(株)を設立しました。9月27日には同社とともに、国土交通大臣に対し鉄道事業許可申請をおこない、11月7日、その許可を受けました。同事業においては、中之島高速鉄道(株)が鉄道施設を建設・保有し、当社が同施設を使用して運営をおこないます。

● 寝屋川市駅の新コンコースと改札口を使用開始

7月28日、寝屋川市駅の新コンコースと改札口が完成し、使用を開始しました。これまで上りと下りで別々であったコンコースを2階に集約したほか、改札口も大阪方と京都市方の両方に設置し、お客様の利便性向上を図りました。また、エレベーターを3基、エスカレーターを9基設置するなど、駅施設のバリアフリー化にも努めています。



寝屋川市駅



新コンコース

● 萱島駅、枚方市駅、ケーブル延暦寺駅が「近畿の駅百選」に認定される

当社の萱島駅、枚方市駅および比叡山鉄道のケーブル延暦寺駅が、9月20日、第2回「近畿の駅百選」に認定されました。萱島駅はホームを突き抜ける樹齢約700年の大クスノキが与える緑と安らぎ、枚方市駅はバリアフリー機能の充実した駅施設、そしてケーブル延暦寺駅は国の登録有形文化財である駅舎や琵琶湖を一望できる眺望が評価されました。京阪グループでは当社の宇治駅、坂本駅および叡山電鉄の鞍馬駅に続くものです。



萱島駅



枚方市駅



ケーブル延暦寺駅

● 男山ケーブルがリニューアル、営業再開

7月11日、リニューアル工事を終えた鋼索線(男山ケーブル)の営業を再開しました。今回のリニューアルでは、車内外のデザインを一新した新型車両を導入するとともに、巻揚装置を全面更新し、自動運転装置を導入して、省力化とメンテナンスコストの削減を図りました。



男山ケーブル新型車両

まちづくり事業

●「くずはタワーシティ」の分譲を開始

9月15日、樟葉駅前において建設を進めているマンション「くずはタワーシティ」（総戸数488戸）の分譲を開始し



くずはタワーシティ（イメージ図）

ました。第1期分譲では、高さ133.8m、地上41階建の超高層棟（273戸）を分譲し、即日完売しました。超高層棟は住戸設備、内装をお客様のオリジナル仕様にする「京阪カスタムデザインシステム」を導入し、好評を博しました。

●びわ湖ローズタウン「のぞみ住区」が街びらき

びわ湖ローズタウン内に10月13日、「のぞみ住区」が街びらきし、分譲を開始しました。「のぞみ住区」はJR小野駅に近接する高台に立地し、眼下には雄大な琵琶湖の眺望が広がります。



流通事業

●「京阪モール」のリニューアルを実施

平成14年2月より「京阪モール」のリニューアルに着手します。今回のリニューアルでは、京橋駅のコンコース・改札内階段の一部を撤去して売場面積の拡張をおこない、駅と商業施設の一体化を図ります。これによりショッピング、飲食、レジャーを楽しむことのできる時間消費型の生活空間を提供し、「ライフスタイルを発信する駅」をめざします。リニューアル完成は平成14年秋の予定です（一部は平成14年6月頃）。



京阪モール（イメージ図）

レジャー事業

●「ガーデンミュージアム比叡」で夏の特別企画「幻想の庭」を開催

7月20日から9月2日までの間、「ガーデンミュージアム比叡」において「睡蓮の庭」のほか園内各所を光ファイバーやフルカラーの発光ダイオードでライトアップする夏の特別企画「幻想の庭」が開催され、多くのお客様に幻想的な雰囲気を楽しんでいただきました。



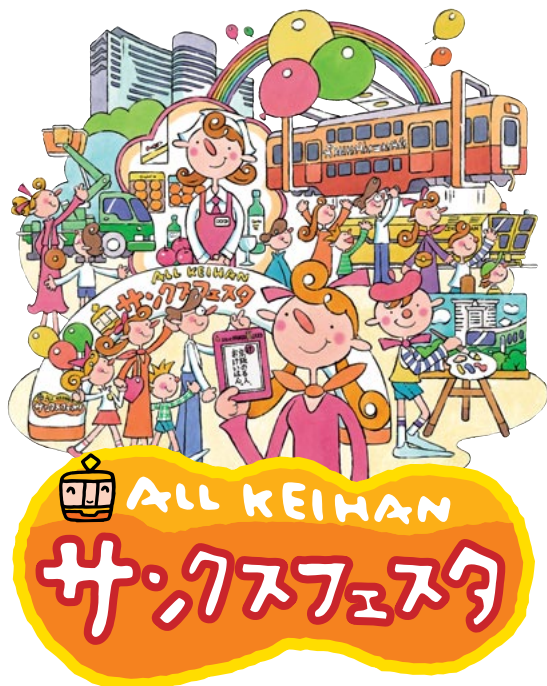
ライトアップされた「睡蓮の庭」



「ガーデンミュージアム比叡」から見る大津の夜景

「ALL KEIHAN サクスフェスタ」を開催

10月1日から1か月間、京阪グループのお客様感謝イベントとして「ALL KEIHAN サクスフェスタ」を開催しました。京阪グループを挙げて、様々な協賛イベントや協賛セールを実施するとともに、ホテル、レストランやレジャー施設などで割引やサービスを受けることができる「京阪得々サクスクーポン」も発行しました。



10月8日にはメインイベントとして、寝屋川車両基地にて「ファミリーレールフェア」を開催し、車両工場や車庫の見学、スタンプラリー、当社のイメージキャラクター「おけいはん」の撮影会などを実施しました。



寝屋川車両工場見学



おけいはんトークショー

会社の概要

(平成13年9月30日現在)

■設立	昭和24年12月1日（創立：明治39年11月19日）
■資本金	51,466,416,776円
■会社が発行する株式の総数	1,595,886,000株
■発行済株式総数	565,913,515株
■株主数	62,158名
■従業員数	2,849名
■本社事務所	大阪市中央区大手前1丁目7番31号
■主要な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ①鉄道事業（鉄軌道による旅客運輸） ②不動産事業（土地建物の販売および賃貸） ③流通事業（ストアなどの経営） ④レジャー事業（遊園地などの経営）
■営業キロ	88.1km
■車両数	767両

役員

(平成13年9月30日現在)

代表取締役会長	金馬 昭郎	取締役	森澤 展裕
代表取締役副会長	伊藤 貞男	取締役	伊藤 彰
代表取締役社長	佐藤 茂雄	取締役	西田 寛
専務取締役	谷垣 純徳	取締役	櫻井 謙次
専務取締役	岡田 恵治	取締役	上田 成之助
専務取締役	中島 大策	監査役（常勤）	小倉 裕
常務取締役	土井 慶三	監査役（常勤）	中市 喜八郎
常務取締役	坂本 富司雄	監査役	天野 光三
常務取締役	毛戸 彰禧	監査役	家近 正直
常務取締役	丹羽 敬	監査役	栢田 圭兒

株主メモ

決算期	毎年3月31日
基準日	毎年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。以下同じ)に記載された議決権を有する株主(実質株主を含む。以下同じ)をもって、定時株主総会において権利を行使することができる株主とみなします。その他必要があるときは、公告をして、基準日を定めます。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
利益配当金	毎年3月31日の最終の株主名簿によりお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により中間配当をする場合は、毎年9月30日の最終の株主名簿によりお支払いいたします。
公告掲載新聞	大阪市において発行する朝日新聞および毎日新聞
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社

単元未満株式の買取手数料について

1,000株未満の株式(単元未満株式)の買取りに際して株主様から頂戴しておりました「買取手数料」を、本年10月より、無料とさせていただきますのでお知らせいたします。
買取請求手続きにつきましては、当社の名義書換代理人中央三井信託銀行(株)の本店および全国各支店、日本証券代行(株)の本支店および出張所でお受けいたしております。

●当社株式に関するお問い合わせ先●

〔名義書換代理人事務取扱所〕

東京都杉並区和泉2丁目8番4号 (〒168-0063)
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
TEL (03) 3323-7111 (代表)

〔同 取 次 所〕

中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
大阪支店 証券代行部
TEL (06) 6202-7361
日本証券代行株式会社 本支店、出張所

表紙：樟葉駅を発車する「くずはタワーシティ」

株主ご優待制度

株主のみなさまへのサービスの充実を図るとともに、当社へのご理解を深めていただくため、株主ご優待制度を実施いたしております。

●ご優待基準

1. 株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚数
1,000株以上 20,000株未満	当社線全線通用乗車券	1,000株につき3枚
20,000株以上 34,000株未満	//	60枚
34,000株以上 48,000株未満	当社線全線通用乗車証 (定期券型式)	1枚
48,000株以上 100,000株未満	当社線全線・京阪バス線通用乗車証 (定期券型式)	1枚
100,000株以上 300,000株未満	//	2枚
300,000株以上 500,000株未満	//	3枚
500,000株以上 1,000,000株未満	//	5枚
1,000,000株以上	//	10枚

2. ひらかたパークご招待
ひらかたパーク株主ご招待入園引換券2枚(ご招待用乗車券4枚付)を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。

●贈呈時期

対象	贈呈時期
3月31日現在の株主様	6月下旬
9月30日現在の株主様	12月中旬

●ご使用方法など

- 乗車券は1回のご乗車につき1枚必要です(京阪線と大津線・鋼索線を乗り継ぎされる場合にはそれぞれ1枚必要です)。
- 乗車証は記名ご本人以外の方(持参人1名)もご使用いただけます。
- 当社線全線・京阪バス線通用の乗車証では、京阪バス線の定期観光路線、高速線(ユーエスジェイ線を含む)、空港線にはご乗車になれません。

上記のほか、特典として京阪グループ諸施設のご優待割引券を毎年3月31日および9月30日現在1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。